



執筆協力 編集室システムU okamura.nobuyoshi@gmail.com

介護老人福祉施設の誘致を巡る対応が議会

# 志清会 市長候補に中嶋前議長選出

## 村木市長と雌雄を決する戦いか 市長執行権限と議会議決権 法的議論の必要性も

早ければ8月中、遅くとも9月半ばまでに実施されるあきる野市長選に自民系会派の志清会から前議長の中嶋博幸氏(55)が立候補する。24日に投票される市議選後の本会議で村木英幸市長(65)への信任決議が再度可決し、市長が失職した直後に記者会見し、立候補表明すると見られる。市長の執行権の下、自らの政策実現に前のめりに進む村木市長も起死回生を狙い立候補すると見られる。候補を模索するとしている共産党などは村木氏を担いだことに対する釈を済ませておらず、今回は候補を見送るのが筋だ。

軽視として、6月16日に市議会から圧倒的多数で不信任決議を受けた村木市長は1週間後、地方自治法に基づき、市議会を解散した。その際の記者会見で、「市長の執行権を侵害する危険性が高い」と議会を批判した。

施設誘致を巡っては、2021〜23年度の介護保険事業計画の策定に当たり、策定委員会は新たな施設整備は不要とした。だが、村木市長は結論を覆し、整備を進めることを決めた。

市議会は進め方が強引だとして歯止めをかけるため、施設が必要かを議論する特別委を設置。市有地を事業者

に貸与・売却する場合は議決を必要とする条例も定めた。

これらの経緯を踏まえ、失職した議員らは「市長は問題の本質を理解していない」と反発している。市議選を経て市議会構成はほぼ変わらない見通しで、新議会が再び村木市長の不信任決議を可決するのは確実だ。

ただ、この対立には法的議論の必要性もあらむ。市長の執行権限と議会の議決権のどちらが優位かという問題だ。議論が必要とされる以上、村木市長が整備を進めるとしたことを市長の暴走の一言で片づけられないのも事実だ。

前市長と前議長の対決となる市長選はどうなるのか。自公の厚い組織力に支えられ、中嶋氏の優勢は動かないだろう。ただ、有権者は候補者の市長としての資質や公約をしっかりと確認したうえで投票行動につなげてほしい。そして当選後の市政を見守る責務がある。

のスタートともなった。3448票。市議選史上最多得票となった白井建氏(志清会)が存在感を示した。「これで市長候補は決まり」との声が周囲からは挙がっている。白井氏もその腹積もりだろう。

白井氏は市議選でサラブレッドの本領を發揮したが、それが足かせになるとの見方もある。父親の孝氏は秋川市長、都議、あきる野市長とおよそ36年間秋川流域に君臨してきた。西多摩切っただの人物政治家の1人だが、晩年のあきる野市長時代はその輝きは消え沈黙した。共産党などからは「あきる野市の厳しい財政状況の原因を作った戦犯」と批判されてきた。

東京25ジャーナルでは昨年10月16日配信の2021選挙検証③のあきる野市議選を振り返る記事で、志清会の市長候補選びについて次のように展望記事を書いた。

「市議選は2年後の市長選の候補者レース

## 堀江会長がまとめ役 2015年の混乱回避 市長を担いだ勢力はお詫びと釈を

ず出るだろう。選挙後の新議会から議長は中嶋博幸氏(同)が務める。その前は天野正昭氏(同)だった。議長は慣例で2年間務める。2年後は順番なら村野栄一氏(同)だ。

白井氏は市議選でサラブレッドの本領を發揮したが、それが足かせになるとの見方もある。父親の孝氏は秋川市長、都議、あきる野市長とおよそ36年間秋川流域に君臨してきた。西多摩切っただの人物政治家の1人だが、晩年のあきる野市長時代はその輝きは消え沈黙した。共産党などからは「あきる野市の厳しい財政状況の原因を作った戦犯」と批判されてきた。

白井氏が立候補の意思を示せば、孝氏が引退して2期8年、旧五日市町だけでなく、旧秋川市からも「また白井か」の声は少なから

下、志清会11議員が話し合いで選任。決定を総支部が了承した。背景には、議長としてすっかり村木市政に対峙してきた、発信力がある、前述の記事で指摘したとおり、旧秋川市の首長が3代続き次は五日市の番、など様々な理由がある。財政の安定化、少子高齢化対策、防災対策、地域経済の活性化、そして国際課題となるSDGs(持続可能な開発目標)の推進など市内外に課題が山積する。課題と向き合い市政の舵取りをする市長の責任はこのほか重く、高い政策能力、優れた見識、強いリーダーシップなどが求められる。

旧五日市町のある長老は「次は旧五日市町からの先輩に譲り、待つべき。一生懸命応援に回り、基盤を更に強化することが得策。待てば議長も経験する。1期待すべきは父親が衆院選出馬の際にも言われたこと」と指摘する。

それでも白井氏には都職員として積んだ豊富な行政経験があり、政策や議会での論戦で力の差を見れば、「また白井か」「1期待すべき」などの声は消えるだろう。

先輩議長の天野氏、中嶋氏は旧五日市町の選出。旧秋川市の議長経験者では堀江武史氏(同)、子籠敏人氏(同)もいる。村木市長と対決するのは誰か。再来年の市長選まで志清会の候補者選びが注目される。

自民党あきる野総支部(岡野悦史支部長)と志清会(堀江武史会長)は市長に意欲を持つ市議の中から中嶋氏を選んだ。予備選を実施した2015年のポスト白井の時のような混乱はなく、まとめ役となった堀江会長の

下、志清会11議員が話し合いで選任。決定を総支部が了承した。背景には、議長としてすっかり村木市政に対峙してきた、発信力がある、前述の記事で指摘したとおり、旧秋川市の首長が3代続き次は五日市の番、など様々な理由がある。財政の安定化、少子高齢化対策、防災対策、地域経済の活性化、そして国際課題となるSDGs(持続可能な開発目標)の推進など市内外に課題が山積する。課題と向き合い市政の舵取りをする市長の責任はこのほか重く、高い政策能力、優れた見識、強いリーダーシップなどが求められる。

変革の波が繰り返押し寄せる時代にあつて、次の首長はこれまでになく力量が問われることを候補者は自覚しなければならぬ。併せて与党会派は市長を支えながらも、理事者側とのなれ合いに陥らず、緊張感のある関係を保つことが求められる。

7月23日号では、市長選と新市政を展望します。(編集部)

7月23日号では、市長選と新市政を展望します。(編集部)

家庭的で温もりあるケアが安心と信頼を育みます。

老人デイサービスセンター 福楽園  
高齢者在宅サービス増進センター

社会福祉法人 豊生会 特別養護老人ホーム 福楽園

TEL 190-0155 042-596-4112  
あきる野市網代326-1 fax 042-596-4176

石川酒造株式会社  
福生市の気軽に遊びに行ける酒蔵

季節のお酒  
多産自慢 雄町 生原酒

人気のお米「雄町」で造る、繊細で綺麗な味の日本酒が出来上がりました。吟醸香が豊かに広がり、旨みも多く、新たな多産自慢の魅力を知っていただける仕上がりです。

日本酒とクラフトビールを醸造する酒蔵で、直売店やレストランを併設。緑の多い癒やしの空間。

公式サイト

東京都福生市熊川1番地 石川酒造